

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2025 年 6 月 3 日作成 第 1.1 版

研究課題名	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の罹患後症状が生活の質・身体活動・社会的孤独感に及ぼす影響：日本の縦断的調査（CORES : COVID-19 Recovery Study）を利用した観察研究
研究の対象	2021 年 4 月～2021 年 9 月までに国内の急性期病院（20 施設）に新型コロナウイルス感染症の診断で入院され、かつ退院された 20 歳以上の方
研究の目的	本研究は、新型コロナウイルス感染症による罹患後症状が退院後の日常生活に及ぼす影響を評価し、生活の質・身体活動・社会的孤独の観点から退院後中・長期の継続的ケアが必要とされる患者さんへの支援方法を検討します
研究の方法	急性期病院（20 施設）の診療情報と罹患 1 年後のアンケート調査データを使用し、新型コロナウイルス感染症罹患後症状が日常生活に及ぼす影響を検討します。* 既存情報のみを取り扱いますので、研究対象の方へのご負担はありません。
研究期間	西暦 2023 年 9 月 26 日（研究機関の長の許可日）～ 西暦 2026 年 3 月 31 日 情報の利用を開始する予定日：西暦 2023 年 9 月 26 日（研究機関の長の許可日）
研究に用いる 試料・情報の 項目	本研究では、「国立国際医療研究センター」から以下の個人が特定できないデータの提供を受けて実施します。 診療情報：年齢、性別、身長、体重、在院日数、診察所見、治療・検査内容 アンケート調査：生活に関する記述内容、自覚的回復度、罹患後症状
試料・情報の 授受	本研究では、「国立国際医療研究センター」における CORES 研究事務局によって診療情報・アンケートデータが収集され、個人が特定できないように加工された後に研究責任者に提供されます。
個人情報の管理	本研究で提供されたデータは、個人名などの個人を特定できる情報を含まない形で提供されているため、個人が特定されることはありません。本研究で使用するデータの利用範囲・管理方法は、国立国際医療研究センターとの取り決めに遵守し、データを厳重に管理し、目的外の方法で利用することはありません。本研究の成果を国内外の学術集会や研究論文として公表する場合においても個人が特定できる情報を含まない形で公表いたします。
試料・情報の管 理について責任 を有する者	当院の個人情報の管理責任者は病院長ですが、その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学附属病院 感染制御部 講師 加藤英明

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

利益相反	利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人を含むものです。本研究の計画・実施・報告において、結果及び解釈に影響を及ぼすような利益相反関係は存在しません。また、研究対象者の権利・利益を損ねることはありません。
研究組織 （利用する者の 範囲）	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属病院 感染制御部 講師（研究責任者）加藤英明 【既存試料・情報の提供のみを行う機関と責任者】 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究センター 国際医療協力局 グローバルヘルス政策研究センター （責任者）磯博康
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。本研究では、個人を特定できる情報を含まないかたちで情報の提供を受けています。当院で個人を特定することができないため、研究利用の拒否の連絡をいただいた際対応致しかねますことをご了承ください。</p>	
問合せ先 〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 感染制御部 （研究責任者）加藤 英明 電話番号：045 - 787-2800（代表）	